

- H30年に国家戦略特区を活用し、国内旅行業務取扱管理者資格を取得。また、地域限定の旅行業を取得し、旅行業者としてワンストップサービスの体制を構築。
- 国内外の個人旅行観光客への対応と所得向上を目指し、HPの多言語化やカード決済システム、Wi-Fi環境、宿泊施設内の多言語表記等について受入体制を整備。

【地域の概要】



＜地域の特徴＞

- 主要産業は農林業と観光業。
- 武家屋敷を中心とした重要伝統的建造物群保存地区があり、「みちのくの小京都」と呼ばれる歴史の町である。

＜仙北市の風景＞

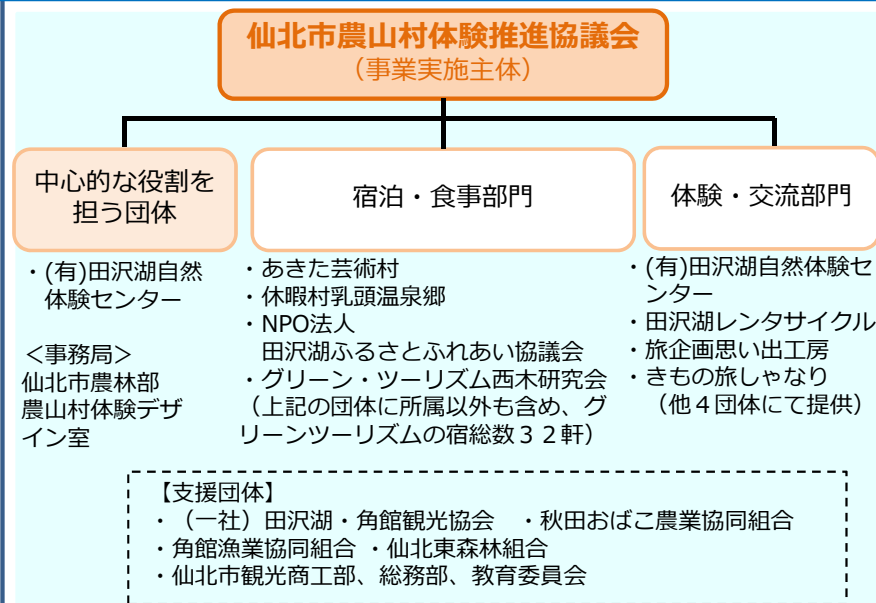


田沢湖



武家屋敷

【実施体制】



○ H20年に市、観光協会、J A等が構成員となり設立。

＜運営体制＞

- 地域限定の旅行業を取得しており、HP (英語版有り) から予約が可能でワンストップサービス体制を構築。
- 英語対応ができない宿泊施設の外国人旅行者との交流手段として、翻訳アプリを導入。
- 現在は、タイの大手旅行会社を初め様々な国の現地手配業務を行い、インバウンド受入対応強化に向けた取組を推進している。



英語版HP

【取組内容】

＜宿泊＞

- あきた芸術村、休暇村乳頭温泉郷、農家民宿やペンション等の運営者から構成されるNPO法人田沢湖ふるさとふれあい協議会、グリーン・ツーリズム西木研究会や上記団体所属以外のグリーンツーリズムの宿 (32軒) で受入を実施。



庵農家民宿 泰山堂



農家民宿 西の家



農家民宿 輝湖



休暇村乳頭温泉郷

＜誘客コンテンツ＞

- 田沢湖・秋田駒ヶ岳等の美しい自然を活かしたラフティング等のアクティビティ、角館の武家屋敷通りでの着物着付け体験等、地域の特色を活かした数多くの体験コンテンツを実施。

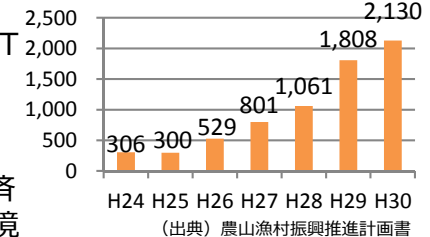


着物着付け体験

＜特徴的な取組＞

- 国際交流団体の受入れに加え、FITの受け入れ数が急激に伸び、グリーンツーリズムの宿の外国人宿泊者数は年間2,130名 (H30) を超える。
- 地域全体にWi-Fi環境、カード決済システム、多言語表記導入などの環境を整備。
- 国内外の個人旅行者の誘客拡大に向けて、高齢の受入農家の労力を軽減し、開業農家や泊食分離食分離、アルベルゴ・ディフーズ (分散型ホテル) の考え方に基づく地域づくりを目指す。

外国人宿泊者数 (人)



インバウンドの受入